

立憲民主党代表補佐
衆議院議員

高木 錬太郎 たかぎ れんたろう



2020 年 年頭にあたって

昨年末から年明け早々、2020 年を不安にさせる二つの世界的大事件が発生しました。一つは日本の刑事司法制度の根幹を揺るがすゴーン被告出国事件。そして、中東の平和と安定に大きな懸念をもたらす米国とイランの緊張です。

さらに言えば、米国大統領弾劾裁判、英国 EU 離脱、米中貿易対立、日韓外交、北朝鮮非核化問題、香港での当局とデモ隊との衝突激化等々、世界はますます不確実で、不安定な状態に陥っています。

そういう状態になると得てして他国に対して攻撃的で威勢のいい言動が世界中の政治指導者の間で目立つようになります。そういう言動に喝采を送る方も少なからずいます。しかし、政治指導者による攻撃的で威勢のいい言動が人類究極の目標である「世界の平和と安定」につながるとは思えません。不確実で不安定な現代国際社会だからこそ、理性的で丁寧かつ思慮深い言動で政治のかじ取りを行なうべきだと思います。

わが国も他人事ではありません。米国におもねることなく、しかるべき局面で、しかるべき相手に、しかるべき言動を行っていく必要があります。しかし、現実には真逆です。事実上の米国追随である自衛隊の中東派遣が国会審議もせず閣議決定されました。実効性や法的根拠も乏しい派遣は中止にすべきです。

そして、わが国が世界で堂々と発言していくためにも、国際的に「まっとう」と言える刑事司法制度法務行政も変えて行く必要があります。

オリンピック・パラリンピックがわが国で開催される今年、世界中から人々が日本に集まります。「競技会場」や「おもてなし」だけでなく、「政治」「行政」「司法」の分野でも世界から尊敬される国へ。私は変えたいと思っています。

衆議院議員 高木錬太郎

※ 公職選挙法第 147 条の 2 の規定により、選挙区内の皆様は、年賀状その他これに類するあいさつ状を出すことが禁じられております。ご無礼をお許しください。

コラム 「主夫から国会議員へ」



我が子がお世話になった放課後児童クラブで 4 年間、保護者会の会長を務め、そのクラブを運営している NPO 法人の理事も務めました。既存クラブの運営のみならず新クラブ立ち上げにも関わりました。

さいたま市はじめ県南の自治体では共働き等で利用者は増加の一途。その需要に応じて質の高いクラブを増やさなきゃ。でも、現場の実情で言うと、なかなか増やすのは難しいもの。なぜか？ 良い場所がなかなか見つからなかったり、見つかって家賃等の諸条件が合わなかったり。それと同時に、やっぱりクラブで働く支援員やスタッフが見つからないため。なぜ見つからないのか？ 働きに見合うだけの給料が支払えないから。求人を出しても応募がないから。

人件費等クラブへの補助金は各自治体が苦勞して予算措置していますが、ここは国の出番。放課後児童クラブの質量ともに大幅向上を図るため、国費の大胆投入。保護者も児童も安全安心の居場所をつくるため、国の発想を大転換しなきゃ。(錬)

第201回通常国会（1月20日開会予定）における高木錬太郎所属委員会での論点

法務委員会

- 国際的に「まっとう」と言える刑事司法制度
- 出入国管理制度
- 少年法成人年齢引下げ
- 新在留資格「特定技能」の現状
- 選択的夫婦別氏制度の実現
- 入管施設収容者への非人道的対応
- 難民認定

災害対策特別委員会

- あらゆる自然災害の想定外を想定する災害対策
- 平時からの国・地方の責任と役割分担の根本的整理
- 「まっとうな」避難所設営と運営
- 災害関連法律の統合・改廃
- 中央防災会議の役割
- 災害対策にあたる新行政組織創設

決算行政監視委員会

- 何よりも委員会を開くこと
- 与党理事が委員会開会を
決断すること
- 滞留した3年分の決算を
1年ごと慎重かつ丁寧に
審議していくこと

今国会の主な論点

社会保障制度改革

子育て支援・教育・医療・介護・障がい者福祉・年金について、まずはあるべき姿を、財政上の制約を入れず、構想し、制度設計し、国民に提案し、共感・合意していただいた上で、はじめて財源論へ、という丁寧な段階的アプローチに転換すべき。でないと、いつまで経っても目の前と将来の不安感は拭えない。

カジノ問題

そもそも博打で経済成長を目指すなど卑しいにも程がある

法人税の国際的な改革について

現在、OECDで検討されている世界各国の法人税引下げ競争問題について、最低税率創設合意に向けて、日本が議論を主導すること。

新デジタル法案

現代IT社会に対応して企業間取引における優越的地位濫用の防止や個人情報保護等にかかる新法であるが、さらにEUにおけるGDPR（一般データ保護規則）の日本版を早期に創設すべき。

「桜を見る会」問題

これは税金の使い方の問題。安倍首相本人にまつわる話であるので、本人が国会で質問に答えれば一発で終わる。

高木錬太郎 プロフィール



立憲民主党 代表補佐
立憲民主党 災害対策局次長

- ◆1972年7月21日 高知県生まれ。
- ◆1995年 中央大学法学部政治学科卒。(株)ニチレイ入社。
- ◆2000年 枝野幸男秘書。
2007年 埼玉県議選（中央区）挑戦、惜敗。
妻（埼玉県議 高木まり）の秘書として一貫して支えながら3児（長女・双子の男児）の育児・家事にも勤しむ「兼業主夫」
- ◆2017年 衆院選北関東ブロック単独比例初当選。
- ◆当選直後は「主夫から国会議員へ!」とマスコミからも大きく取り上げられる。

◆ 錬さんのおしゃべりサロン

新春おしゃべりサロン

日時：2020年1月25日（土）
14：00～16：00
場所：武蔵浦和コミュニティセンター 第3集会室
会費：無料
事前申込不要。当日、会場に直接お越しください。

高木錬太郎 南浦和事務所



私の秘書だった高木錬太郎君。埼玉15区での活動にご注目ください。

立憲民主党 代表
枝野幸男



〒336-0015
さいたま市南区太田窪5丁目27-3 石川ビル101
TEL：048-856-9784 FAX：048-856-9785
URL：http://www.rentaro-takagi.com

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館304号室
TEL：03-3508-7302 FAX：03-3508-3302

f @rentarou.takagi
t @takagirentaro

